

□日時：平成29年12月17日（日）13時30分～16時00分
□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第18回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会の概要報告 12/20版

- 1 開会挨拶 ……戸崎くまもと戦跡ネット理事
本会「フォーラムくまもと」は当初の県内戦争遺跡保存各団体連絡会議から、名称を変えながらも4年目の活動となりました。来年・再来年の活動内容に関して、事務局から幾つかの提案等なされます。実りある協議となるように願っています。



開会での「くまもと戦跡ネット」
戸崎理事の挨拶

- 2 団体及び個人参加の方々から自己紹介、取り組み等の報告
(1) オブザーバー

- 熊本日日新聞社熊本総局……本田清悟総局長
戦後70年平和のバトン展では、大変お世話様になりました。今回熊本で「平和ミュージアム建設の県民運動」がいよいよ始まり、熊日としても応援していきたいと思えます。
- 熊本総局……熊川果穂記者
今年度、新規採用となり熊本総局に配置となりました。これまで炭坑や強制労働等の社会問題にも興味が深く、自分のテーマとして継続して勉強ができればと思っています。
- 新老人の会熊本支部……小山和作代表
熊本支部は260人の会員で、多様な活動を進めています。特に語り継ぐ会では、継続して会活動を進め、先般第100回例会をシンポジウムとして開催できた。体験者が語る事ができる内に、平和ミュージアム建設運動を進めることが必要だと思えます。
- 戦争を語り継ぐ会……安藤富士記担当世話人
継続して月例会を開催し、先般は中国残留孤児の方のお話を聞く貴重な機会がありました。また、会では『語り継ぐ戦争の記憶』として第3集の刊行を進めています。3月例会では、上村さんに発表頂く予定です。



左：初参加の「合志の近代遺産を考える会」の上田代表の自己紹介と会活動紹介
右：オブザーバー参加「熊本日日新聞社熊本総局」本田総局長の挨拶

(2) 各参加団体

- 合志の近代遺産を学ぶ市民の会……上田欣也代表
合志市議として、地域の公的施設の多い歴史や転入者が多数占める合志市のなかで地域づくりや菊池恵風園ボランティアガイド活動も行っています。今年2月に合志の近代化に関わる市民の会を立ち上げ、奉安殿・教育勅語等の見学・学習会を深めています。
- 人権NPOちなもい……有馬事務局長
ちなもいとしては、新規事業として「人権救済に関する相談事後用」を2年間取り組み事となりました。現在、八代・鏡の干拓地に不時着した義烈空挺隊4番機の地元証言を集めています。個人としてフォーラム活動には、今後も関わっていききたい。
- 荒尾二造市民の会……諸隈副代表
代表の福田氏が逝去し、下津氏が代表に就任しました。来年4月を目途として、自宅を改造し個人資料館「昭和の荒尾記念館（仮）」の開館準備を進めています。荒尾二造資料100点をはじめ、古代から近現代に至る資料展示を予定しています。また、荒尾市内の他団体と一緒に「郷土資料館」建設運動も進めています。
- 荒尾二造市民の会……山野事務局長
所用で遅れて参加しました。それぞれの会で、平和に関して「やれる事」を推進することが県全体の活動・力の集約となり、引き続き議論の深まりを期待します。
- 上村真理子さん
12/10に3回目の資料調査に対応し、その内容は戦跡ネットHPに紹介しています。今回は空襲に関する資料を中心とし、熊本市立図書館での「夏の平和展」に向けて諸準備を進めています。松橋・甲佐高校の平和学習への支援や12/8でのマスコミ報道にも関わりました。また、宇城市松橋町の町中図書館で、継続して戦時資料の紹介も行っています。
- 三隅康資さん
熊日「読者ひろば等」での投稿等を通し、全国各地の平和ミュージアムを実際に見学しながら、本会でも報告し、幾つかの平和活動等にも関わっています。
- くまもと戦跡ネット……戸崎理事
玉名を中心に13年間活動を行い、地域の有明中学校では総合学習・平和学習・玉名学の活動を丁寧に行っています。

- くまもと戦跡ネット……末永理事
玉名市文化課に勤務し文化財担当をしています。菊池川流域の日本遺産を担当し、先般市では住宅開発で壊された大浜飛行場大型格納庫の壊される基礎構造の調査を進めました。
- くまもと戦跡ネット……石川理事
会のHPやペーパークラフトの体験学習を担当しています。第3回となります上村真理子さん所蔵資料調査を12/10に実施し、今回は空襲・紙芝居・絵本等の紙資料を58点をくまもと戦跡ネットHP内の「戦争遺産フォーラムくまもと」に掲載しています。最新資料をご覧ください。また、戦後70年玉名歴史博物館で行いました「熊本の旧軍飛行場を活写する」に関わる啓発リーフレット「菊池飛行場を活写する」の作成を進めており、2月発刊の予定です。第4回空襲・戦災・戦争遺跡を考える九州・山口地区交流会で、会が関わりました2本「陸軍人吉木製掩体壕」「M76焼夷弾」の発表をしました。
- 熊本の戦争遺跡研究会、花房飛行場の戦争遺産を未来につたえる会、平和憲法を活かす熊本県民の会、人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク、人吉海軍航空隊を顕彰する有志の会、坂田和弘さん、牧口敏孝さん …… 欠席



左：「くまもと戦跡ネット」石川理事の自己紹介と会活動説明
 中：高谷事務局長からの提案内容の説明
 右：オブザーバー参加の「新老人の会」小山和作代表世話人、安藤富士記担当世話人の発言 等

3 協議、意見交換等

(1) 最近の動向

※資料

- ア 人吉・球磨戦跡ネットによる『神殿原飛行場』リーフレットを、2月に九州ろうきん助成金で発刊しました、地域の戦争遺跡・遺産の理解啓発資料として、無料配布を行います。
- イ あさぎり町教育委員会教育長「序文」の紹介
町文化財調査報告『陸軍人吉秘匿飛行場跡～木製有蓋掩体壕の埋蔵文化財発掘調査～』内の教育長序文です。「戦争遺跡の大切さを地域住民が訴えてこられましたので、町として歴史資料の調査として埋蔵文化財調査を行った」旨の内容です。菊池飛行場の「花房飛行場跡給水塔」の文化財としての認識問題とも大きく関わります。
- ウ 錦町観光拠点施設「山の中の海軍のまち ひみつ基地ミュージアム」
博物館・資料館ではない物産館、観光ガイダンス施設で、人吉海軍航空隊他の軍事資料展示や地下壕見学拠点として来年4月に開館の予定です。町単独施設として独自に建設・整備が進められ、種々の課題を抱えています。

～ 休憩 ～

(2) 2019年「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」の開催

※資料

- 事務局により、基本内容と今年度の第23回高知大会内容を例示しての具体説明。熊本大会期日は平成31年8月24日(土)・25日(日)、23は準備委員会、26は見学会の予定。会場は熊本市国際交流会館を既に確保し、参加予定者は250人を予定。
- 大会記念講演やテーマ、見学会コース等は今後の課題ですが、特段原案に異論はでなかった。第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会の地元「実行委員会」の設置を了解いただいた。
- また、実行委員会は「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会を母体として進めて事了解。各団体では、全国事情に触れる貴重な機会となりますので、協力体制をお願いします。

(3) 熊本に、戦争と平和の資料館「ピースくまもと(仮)」設立を!

※資料

- ア 事務局より前回の「第17回事務局会概要報告」を参照して、これまでの要点を説明。
- イ 「設立骨子(案)」及び「タイムテーブル(高谷試案Ⅲ)」の説明
- ウ 意見交換
 - 別途に作業部会を先行して設置し、「合同研修会・例会」「設立準備会」については、場所確保等の問題があり、仮ではあるが既に確保した。
 - 5月に向けて、多くの団体を巻き込んでいくことが大切であり、費用等を含め種々の課題の整理が必要である。全員で「やるぞ!」という意識を持たせる事が大事ではないか。
 - 3本の柱は理解するが、軍都熊本としての戦争加害視点も踏まえ、悲惨な戦争の姿を示すべきだ。ブーゲンビル島での住民被害等の情報も入れながら、まなびを深める事が大切。
 - 「戦争のものと基を考える」展示内容が、私達当時生きた人間としてほしい。

- 「何処に造るのか」、「費用をどうするのか」も、議論として必要だ。
- これまで場所等については、花畑別館・学園大学体育館等の候補地が挙がったが、特定することで、議論が深まらない事を既にこの事務局会では経験した。まずはどの様な平和ミュージアムとしたいのかを深める、コンセプトを詰める事が大切ではないか。
- 行政も県民運動の一部であり、行政がくみしやすい様な「仕掛け」をつくる必要がある。
- 戦争体験者の声が聞ける今でなければ「戦争」を伝える平和資料館建設の機会はない。
- 熊本空襲に関する行政機関での資料収集が殆ど県ではなされておらず、熊本市博でも10数点しかない。歴史事実を伝える資料の収集や「熊本の戦争の歴史」を語る場が必要だ。
- 被害・加害を対局的に捉えるのではなく、「戦争を憎み、平和を希求する」視点が大切。
- ピースおおさかでは、加害から被害への展示「大阪大空襲」へと変わった。
- ピースあいちでは、請願から設立まで20年を要した。多額の篤志寄付が活動の母体となっており、募金等は趣旨賛同しやすい様な「コンセプト」が必要だ。
- 近代の戦争が、直接戦闘に関わる兵士だけでなく、如何に子ども達や銃後の国民を巻き込み、教育がそれに大きな役割となった事を伝えるべきだ。
- 戦後70年「平和のバトン展」での県民の願いを受け、まず平和資料館を造るとの意識につなげ、市民等からの持ち込み資料にも対応し、収集活動も必要だ。
- ピースあいちでは、「郷土の戦争の歴史」に特化する事により、行政も関わりやすい状況を創り、設立にこぎ着けた。
- 上村さん収集資料は、関西・全国の通史的な資料であるが、熊本の郷土資料は各団体のお持ちの資料や熊本地震後の収集資料等をまとめる事でかなり網羅することができる。
- 行政への働きかけは「準備とタイミング」が大切だ。
- 行政が本建設活動に関与できるよう「どの様な意味を有するのか」「将来に向けてどう役だっていくのか」等を本事務局会で協議し、基本となるコンセプトを示す必要がある。
- この活動は、戦争の加害・被害での「憎悪を募らせる」ものではなく、「鬼畜となった戦争」を憎み、平和を目指す視点を常に繰り返し説明しながら、世論を起し、マスコミにも協力いただき、行政も参加する県民運動とする必要がある。
- 建設費用、場所の選定等の大きな問題はあるが、まずは立ち上げるという意識が必要だ。
- 来年5月の設立準備会に向けて、大きな視点でのまとめが必要だ。細部等については作業部会で項目毎に詰めて企画にまとめ、この協議内容等を丁寧に全体の事務局会で、集約していくことが、この会での流れになっていくのではなかろうか。
- 作業部会・合同部会等での話すべき内容等を整理し、議論の深まりを期待したい。
- 次世代につなぐためにも、高校生平和大使の会、大学等への働きかけを進めてほしい。

エ 決定事項

- 「戦争遺産フォーラムくまもと」と新老人の会「戦争を語り継ぐ会」合同研修会・例会を、平成30年3月24日（土）午後2時から、「国際交流会館」5階大広間Aで開催する。定員が約50人であるが、各団体から参加いただきますようお願いいたします。
- 「ピースくまもと（仮）」設立準備会の発足は、平成30年5月13日（日）午後2時から、「パレア」第1会議室で行う。

4 その他

- 第19回「戦争遺産フォーラムくまもと」事務局会
平成30年2月18日（日）午後1：30からの開催とする。事務局会からは、作業部会成立とその協議内容、コンセプト原案を提案する。また、合同研修会・例会の具体実施計画案を提示する。
- 前回同様に、くまもと戦跡ネットHPへの会議資料等の掲載を行うので、欠席の団体等では各自でダウンロードをお願いしたい。概要（会議録）は近日中、メールでお知らせします。



閉会での「ちなもい」有馬事務局長の挨拶

5 閉会挨拶

本日の協議はとつても意義のある内容でした。大きな事に取り組むためには、核になる方々の共通認識を十分に深めないと、つまずいたり、ほころんだりする。十分に思いや願いを出し合いスタートしていくことが重要だと思います。今後は大きな壁も現れるだろうが、皆さん方で知恵を出し合い、このエネルギーで、きっと乗り越えることができると信じている。

問い合わせ先・連絡先

戦争遺産フォーラムくまもと
 (くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク事務局) 高谷 和生
 自宅/〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5
 TEL&FAX 0968 74-5030
 個人携帯 090-1513-5528
 Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp